

認知症予防 無料講習会

よりよく生きるために、もっとよく識る

主催:NPO法人ほのぼの研究所

日時

2018年11月6日(火)13:30~16:30

場所

柏市介護予防センター

(開場13:00)

ほのぼのプラザますお まなび館

定員 先着30名
要お申込み



「認知機能の見える化で何がわかるの？」



講師:つむぐびとプロジェクト代表

トータルブレインケア・認知機能見える化研究所顧問

榎本 哲 先生



「認知症予防の最前線と『共想法』」



講師:理化学研究所チームリーダー

ほのぼの研究所代表理事・所長

大武 美保子



参加者で情報・意見交換会

お申込み方法等詳細は裏面を御覧下さい。

FAX専用

お申込用紙(04-7154-5907宛て、必要事項明記の上、ご送信下さい)

お名前(フリガナ)	ご住所 〒	
電話番号	E-mail(ございましたら)	ご所属先(ございましたら)

講師紹介

榎本 哲 先生

つむぐびとプロジェクト代表
トータルブレインケア・認知機能の見える化研究所 顧問
発達障害のある人のキャリアアップ創出プロジェクト代表、ほか

医薬品産業等で、企業合併、分社、組織立上げにおいて、制度やシステムのインフラ構築、人材育成、事業統廃合に伴う要員問題、組織ガバナンスの見直しなどを経験。

一方で、長年にわたり、医療福祉分野の社会活動に携わり、中間支援を中心に複数の団体の理事や評議員、スーパーバイザー等を担う。現在は、発達障害を中心に、難病、障害、介護、LGBTなどの社会的困難を抱える人の社会参加(就労・キャリア形成)に関する実践研究、学びのある居場所づくり、社会生活の視点での認知機能の見える化研究に携わっている。著書『働く発達障害の人のキャリアアップに必要な50のこと』弘文堂(2018)

大武 美保子

理化学研究所 革新知能統合研究センター 認知行動支援技術チーム チームリーダー
NPO法人ほのぼの研究so 代表理事・所長

東京大学工学部卒業、東京大学大学院工学研究科博士課程修了、博士(工学)。

専門は、人工知能、知能機械学。2006年、認知症をもつ祖母との会話をヒントに、「共想法」を考案。2007年、研究拠点「ほのぼの研究so」を設立、翌年、NPO法人化。自治体、福祉・介護・医療機関との協働事業を展開。東京大学准教授、千葉大学准教授等を経て、2017年4月より現職。

2014年、科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞受賞。著書に、『介護に役立つ共想法』中央法規出版(2012)

会場へのアクセス

ほのぼのプラザますお

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061400/p002171.html>

〒277-0005

柏市加賀3-16-8 ☎04-7170-5570

東武アーバンパークライン増尾駅西口より徒歩4分

* 専用駐車場はありますが、駐車台数が限られております。
なるべく公共交通機関をご利用下さい。



お申し込み方法・主催者お問い合わせ先

* お申込みについて一定員30先着順 締切10月30日

- ①「認知症予防講習会申し込み」タイトルの、お名前、ご住所、電話番号、(ご所属先、E-Mail)を明記の下記宛て E-Mail
- ②FAX—チラシ裏面上部ご利用で、04-7154-5907宛て にて申し受けます。

*講座担当:清水(09021701974)・鈴木(09055698064)

*お預かりした個人情報はほのぼの研究soとのご連絡のみに使用させていただきます。

ほ

NPO法人 ほのぼの研究so 〒277-0005 柏市柏1丁目7番1-301 Day・One外-3階

E-Mail:frioffice@fonobono.org <http://www.fonobono.org/>

2008年設立。代表理事・所長:理化学研究所革新知能統合研究センター認知行動支援技術チーム チームリーダー大武美保子。高齢社会の諸問題、特に認知症に関する諸問題を解決する科学技術や社会システムについて研究する機関。所長が考案した認知症予防会話支援手法「共想法」*と関連サービスを市民研究員が多世代、多分野の方々と実践、研究・開発を行っています。「共想法」*はテーマに沿った写真と話題を用意して、1人ずつの持ち時間を決めて会話を進める手法。

～お陰様で、ことしNPO法人設立10周年を迎えることができました～

見学・体験希望者、賛助会員、市民研究員、随時募集中です。